



松小だより

12月号
高松市立松島小学校

「～統合に向けての具体的な取り組み始まる～」

街路樹が紅葉し色鮮やかになり、本格的な冬の訪れを感じます。学校では、新型インフルエンザ流行のピークは過ぎたものの、依然欠席者が続いている状況です。11月22日に実施予定だった松っ子秋祭り・ふれあい祭りは、学級閉鎖が続いていたのと拡大防止のために午前の活動は延期、午後の活動は中止とさせていただきます。お忙しいなかいろいろと準備を進めていただいていたにもかかわらず中止し大変ご迷惑をおかけいたしました。

さて、来年4月高松第一小学校開校に向けていろいろな取り組みが始まっています。11月30日には、通学路確認と学校に慣れることを目的に、築地小学校の児童・先生・保護者の皆さんが高松第一学園校舎へ登校しました。まず、築地校区内4カ所の集合場所に集まってから一緒に登校したそうですが、松島小学校児童より早く学校に着いていました。ウエルカムガーデン前に全員が集合した後、それぞれの学年教室前で松島小学校の児童とお互いに挨拶を交わし授業に入っていました。休み時間には、早速同じスポーツ少年団の児童が築地小の友だちの教室を訪れるなど、両校入り混じって仲良く遊んでいました。11月27日には、新塩屋町小学校の皆さんが来て授業や交流会をする予定でしたが、インフルエンザによる学級閉鎖があり延期となりました。次回を楽しみにしています。いよいよ統合に向けての取り組みが本格的になってきました。



【プレーガーデンで仲良く遊ぶ 低学年】

「不審者対応の防犯訓練をしました」

12月1日、高松第一中学校と合同の不審者対応防犯訓練をしました。南館1階3年生教室前廊下に刃物を持った不審者が侵入するという想定で訓練をしました。教室にいた3年団の先生方が不審者役となった警察官と対応し、応援を求めるとともに全校生は、運動場に安全に避難するという流れでした。新しい校舎に入って初めての訓練でしたので、対応の仕方や避難経路など、改善する点が明らかになりました。子どもたちは、「校舎の中や運動場の階段は歩き、運動場に出たからは走って避難する」などの約束をきちんと守り、先生の指示に従って安全に避難することができていました。避難終了後、警察の方から、8年前、大阪の池田小学校で大勢の児童が亡くなったり怪我したりしたことをお聞きし、安全に避難することの大切さを学ぶことができました。



『不審者に対応する先生方』



『走って避難する児童』



『警察官のお話』

《裏面もあります》

訓練の後、1年生は体育館で防犯教室があり、不審者から自らの身を守る方法を人形を使って分かり易く教えていただきました。学んだことは五つのキーワード

①はなれる ②ことわる ③大きな声 ④にげる ⑤伝える

①人から1メートルは離れる ②ゲームをあげるなどと誘われても断る ③危険を感じたら大きな声を出して助けを求める ④危険を感じたら子どもSOSのお宅などに逃げ込む ⑤不審者の顔立ちや服装、車のナンバーや色などをできるだけ詳しく伝える という内容でした。いろいろと教えていただいた後、できるかどうか、クラスの代表児童が練習をしました。2人とも、離れる、大声を出すなどしっかりと対応することができていました。



『五つのキーワード』

『1メートルは離れる』

『大きな声で助けを求める』

読書月間で読み聞かせ会

読書月間にあわせて、1日(火)読み聞かせグループ「伝々虫」の方々がボランティアで読み聞かせをしてくださいました。各学年の興味・関心にあった物語本を選んで読んでくださり、話によっては、大声を出して笑って聞いたり、話の内容に引き込まれ真剣に聞いていたりしていました。一方、詩なども紹介していただき、子どもたちも一緒に声を出して詩を読み味わうなどあつという間の1時間が過ぎていました。お話の後は、持ってきてくださった本を自由に読ませてくださっていました。高松みらい科6・7年生で「語り・番組作りコース」で指導に来てくださっている永見さんもこのグループの一員で楽しいお話を聞かせてくださっていました。



『静かに聴き入る子どもたち』

『パピプペポの詩』

『永見さんによる読み聞かせ』

「平成21年度 学校評価について」

松島小学校の取り組みについて、保護者の皆様にご協力いただいた調査の結果がまとまりましたので別紙のようにお知らせします。調査項目については、昨年と比較できるよう、また、保護者と児童が同じ項目観点で比較できるよう設問を設定しました。

結果を見ますと、学校生活の楽しさ、学校行事が楽しく意義あるものになっているなどの項目が保護者・児童ともに比較的高い評価でした。一方、児童の90%以上が「英語の時間は楽しい」と答えているにもかかわらず、保護者の皆さんは「子どもが楽しみにしている」という項目について80%を切っている評価となっていました。お子様の活動の様子や学校の取り組みについての情報提供が十分でなかったのではないかと反省しています。

高い評価をいただいている項目については継続し、評価が低かったものやずれのあった内容については改善策を講じ、4ヶ月後に迫った統合に向けて改善していきたいと考えています。詳しくは別紙の「平成21年度 学校評価(中間期)考察」をご覧ください。